

活動履歴と今後の予定

- 4/9 あすと第三みのり会フロア長会
- 4/10 北浜住宅役員会
- 4/16 錦町東住宅市長懇談会・役員会
- 4/21 第7回理事会
- 5/14 あすと長町第三みのり会通常総会
- 5/21 錦町東住宅通常総会
- 5/28 北浜住宅通常総会
- 6/11 つなセン総会
- 6/17 錦町住宅住民集会
- 6/18 錦町東住宅役員会
- 6/25 錦町住宅住民集会

Wi-Fi サロン
2ヶ所で開催中!

<つながりリッキー@あすと第二>
開催日:毎週金曜13:30~15:00
※12/30, 1/6は年末年始のためお休みです。
場所:あすと長町第二市営住宅集会所(太白区長町6-5-13)
参加費:大人100円、高校生以下無料
主催:就労移行支援Rickyクルーズ、つなセン 協力:あすと第二市営住宅住民の会

<田子西スマホ講座>
開催日時:毎月第二土曜13:30~15:00
場所:田子西住宅集会所(宮城野区田子西1-11)
参加費:無料
主催:田子西町内会
協力:つなセン、東北学院大学災害ボランティアステーション、
東北大学課外・ボランティア活動支援センター

お気軽に
ご参加
ください!

会員数
正会員 賛助会員
21 28
(正) (賛)

facebook
いいね!数
607
(+12)

2023年6月1日 現在(前号比)

入会のご案内/寄付のお願い

つなセンでは、あすと長町から始まり広がった復興コミュニティデザインの経験を、東日本大震災の被災地や熊本など他地域へ伝えるべく、活動しています。民間非営利の立場で、枠にとらわれずに機動的に活動を続けていくためには、皆様からの会費や寄付が大きな支えとなります。会員として、又は寄付を通じて、ぜひ応援をお願いいたします。賛助会費及び寄付金は寄付金控除の対象となります。会員申込みやご寄付は、ネットからもお手続きいただけます。 <https://tsunacen.thebase.in/>



継続的に応援するには
正会員又は賛助会員にご入会ください。
・正会員:年間6,000円・総会議決権あり
・賛助会員:年間3,000円・総会議決権なし

寄付のお振込先
<口座名義> 特定非営利活動法人つながりデザインセンター
●郵便振替: 02230-8-121908
●郵便振込: ゆうちょ銀行 二二九支店(ニニキュウ) 当座預金 0121908

会員団体のみなさま

- 一般社団法人入居サポートセンター・みやぎ SD不動産 NPO都市住宅とまちづくり研究会
- NPO法人東日本ネットワーク手にぎり隊 NPO法人みやぎ「こうでねいと」
- 株式会社ミツイ 共立女子大学 高橋研究室 CASEまちづくり研究所 高齢者配食サービス「ほっと亭」 今野不動産株式会社
- 社会福祉法人ライフの学校 スタジオまめちょうだい 仙台北百合女子大学 佐々木研究室
- 仙台南健康友の会 つばさ薬局長町店 東北工業大学 新井研究室 東北工業大学 谷本研究室
- 長崎大学 安武研究室 宮城厚生協会長町病院 有限会社栗駒建業

役員名簿

- 代表:薄田 榮一
- 副代表:新井 信幸
- 理事:松原 久
- 理事:マリ エリザベス
- 理事:松村 翔子
- 理事:宮本 愛
- 理事:田澤 紘子
- 監事:金沢 和樹
- 監事:佐々木 裕子

編集後記

町家利活用計画で宮城県登米(とめ)市登米(とよま)町に、昨年初めて訪れて驚いたことが二つありました。一つは旧尋常小学校や旧水沢県庁の建物など明治初期の風景が広がっていたことです。もう一つは、そんな魅力的なところにもかかわらず、週末に観光客おろか地元の人ほとんど見かけなかったことです。今回の町家利活用の取り組みを地域活性化につなげたいところです。(新井)

認定NPO法人
つながりデザインセンター
〒983-0841 仙台市宮城野区原町五丁目5番35号 熊谷ビル205

TEL 080-3205-5177
MAIL asuto@tsuna-cen.com
WEB www.tsuna-cen.com



つなセン
TSUNAGARI Design Center
NEWS



田子西住宅で毎月1回開催しているスマホ講座(仙台市内)

学び合いが
つくる交流の形

「高齢者×デジタル」で集いの場づくり
あすと長町第三市営住宅の運営支援
近畿大学寺川研究室の研修対応
錦町東住宅の近況
ごはん屋はれオープン!
【団体紹介】ビルド・フルーガス

活動報告

Main Topic



「高齢者×デジタル」で集いの場づくり

1 田子西スマホサロンの開設

昨年夏、田子西市営住宅(仙台市)の町内会より、あすと第二で開催しているようなスマホサロンを田子西住宅でも実施したいというご相談を受けました。田子西市営住宅は全4棟・176戸の災害公営住宅です。敷地の中心には独立棟の立派な集会所があり、独居高齢者向けサロンの開催や月2回の一斉清掃など、町内会活動へも熱心な取組みがされています。

町内会役員さんからは、高齢住民の方に気軽に集まって貰える機会を増やしたいのと同時に、行政サービス等のデジタル化が進み生活の中でスマホが必要な



▲個別相談では、参加者の方同士が教え合う姿も見られる

機会が増えていること、一方で使い方が分からない、もっと使いこなしたいと感じている人が多くいることから、スマホについて気軽に相談できる場所をつくりたい、という話をお伺いしました。また、住民同士がLINEなどでつながることで、安否確認や見守りにも役立つことを期待されていました。

そこでまず、①つなセンで初期費用を負担して集会所にインターネット回線を開通すること、②走りながら今後の体制を考えること、として昨年6月から「田子西スマホサロン」を開始しました。スタートにあたり、東北学院大学災害ボランティアステーション、東北大学高度教養教育・学生支援機構課外・ボランティア活動支援センターに協力を呼び掛けたところ快く応じていただき、両大学の学生さんがスマホ相談員として参加をしています。また、仙台市社協にもスクリーン等備品のご協力をいただいています。



▲独立棟の田子西市営住宅集会所



▲昨年9月のミニ講座では、東北大学の学生さんが講師を務めた

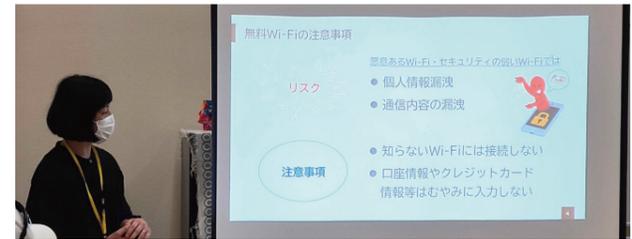
2 集会所へのWi-Fi導入の壁

昨年6～9月までは田子西町内会とつなセンの共催で計7回、10月以降は町内会主催に切り替わり、毎月1回の開催を続けています。当初は「スマホをWi-Fiに繋いでみよう」、「メールとLINEって何が違う?」といったミニ講座と個別相談を組み合わせで実施していましたが、今では、三々五々集まった人に対応できる人が相談に乗る、といったゆるやかな形に落ち着いています。

今年度に入り、インターネット契約を田子西町内会に引き継ぐことになりました。導入前は住民の方々にインターネット回線の有用性を理解していただくのが難しい面もあるため、つなセンなど外部団体の協力で実績をつくり、後から住民組織での契約に移行するという流れは有効に感じています。しかし、いざ移行しようとする、回線事業者が町内会等の任意団体の契約に対応しておらず、代表者が個人名義で契約せざるを得ないといった問題もあります。政府のデジタル化推進という掛け声の一方で、足下の課題はまだまだあるようです。

3 持続可能な運営に向けて

田子西スマホ講座は、助成金を受けずに主には関係者のボランティアで成り立っています。今後は、学生ボランティアの協力を得つつも、参加者や住宅内・近隣から担い手を見つけていくことが継続する上で重要なポイントとなっています。



▲ミニ講座ではWi-Fi利用時の注意点なども解説

団体紹介 No.27

ビルド・フルーガス



「ビルド・フルーガス」は、塩釜を拠点にアート活動を展開している団体で、子どもたちを対象にしたアートワークショップや海外のアーティスト招いた展覧会、トークイベント等を主催しています。また、ギャラリーである「ビルドスペース」や「塩釜市杉村惇美術館」の運営も行っています。さらに昨年、JR本塩釜駅前に空き家を活用したシェアアトリエ「本多工房」を開設し、現在4名の若手アーティストが創作活動を始めています。今後もカフェやラウンジの開設が計画されていて、塩釜のまちがますます活気づきそうです。

これまで、つなセンの活動にも協力いただけてきました。災害公営住宅等でのイベントにアーティストの方を派遣いただいて、段ボールの箱に絵を描いたり、乾漆でブローチを作ったり、テント生地でお洒落なバッグを作ったりして、子どもからご高齢の方まで楽しめる場を提供することができました。

なお、ビルド・フルーガスは、エスペラント語で「鳥が飛んでいる」を意味するそうです。

【ビルド・フルーガス】
 <ホームページ> <https://birdoflugas.com/>
 <本多工房Facebook> <https://www.facebook.com/hondaartiststudio>
 <塩釜市杉村惇美術館> <https://sugimurajun.shiomo.jp/>

Topics

あすと長町第三市営住宅の運営支援

あすと長町第三市営住宅(68戸)みのり会の運営支援を続けて4年が経ち、ようやく自立の目処が立ってきました。毎年、四苦八苦していた次期役員の人選も、今回は複数の新たな担い手(50代女性2名)が現れ、5月14日の総会も滞りなく履行してくれました。

今年度の活動計画は、2か月おきの共用部清掃、年に数回の草刈り、日常的なゴミ置き場・集会所の鍵管理、会費徴収等が主な内容です。それでも、住民間トラブルが頻発しており、電話やSNS等での日常的な相談対応が続いています。



阪神淡路大震災の復興支援を経験し、東日本大震災でも岩手県大槌町などでコンテナハウスを利用した居場所づくり等を実践されてきた寺川政司さん(近畿大学建築学部・教授)と研究室の学生さん11名が、3月7日にあすと長町第二市営住宅を訪れました。住民の会代表の薄田さんより同住宅コミュニティの報告、副代表の新井よりつなセンの活動報告を受けて、質疑応答等を行いました。学生さんからは「集会所が活発に利用されているが、管理は大変ではないか」など、ポイントを押さえた質問がありました。

近畿大学寺川研究室の研修対応

あすと長町第三市営住宅(68戸)みのり会の運営支援を続けて4年が経ち、ようやく自立の目処が立ってきました。毎年、四苦八苦していた次期役員の人選も、今回は複数の新たな担い手(50代女性2名)が現れ、5月14日の総会も滞りなく履行してくれました。



錦町東住宅の近況

アドバイザーとして関わっている錦町東住宅会(塩釜市)で最近議題に上っているのが、電気代の高騰です。これまでの共益費の額で共用部電気代を賄うことが難しくなっているため、共益費の値上げが検討されています。これに関連して空き住戸の長期化による負担が問題となっています。空き住戸があると、その分の共益費が集金できずに不足してしまうためです。長期化の理由は、改修予算の不足や退去者の残置物など複数あるようですが、空き住戸の共益費は誰が負担すべきものなのか、改めて考える必要があります。



ごはん屋はれオープン!

つなセンがクラウドファンディングの支援をしてきた「ごはん屋はれ」が、4月下旬にJR東北本線塩釜駅前にオープンしました。「心も体も健康になれる」をコンセプトにした定食は、週替わりの主菜、副菜、副副菜と、玄米、黒米、白米のごはんをご賞味できます。昭和レトロなハードプリンも味わい深く、子どもからお年寄りまで美味しくいただけることでしょう。週末のお出かけなどの際に、ぜひお立ち寄りください。
 [住所]塩釜市東玉川町9-18(駐車場あり)

